

(7) 令和元年度流山市水道事業報告書

ア 総括事項

令和元年度の水道事業は、平成22年度に策定した流山市水道事業基本計画（平成23年度～令和2年度）（以下「基本計画」という。）における「市民への安全な水の安定供給をめざして」を基本方針とし、流山市水道事業に係る認可（以下「第6次拡張変更認可」という。）及び平成31年4月に改定した流山市水道事業経営戦略（平成28年度～令和9年度）に基づいて事業を実施した。

収入面において、給水収益については本市の人口増加に伴い、給水区域内人口が2.76パーセント増加し、年間有収水量が2.05パーセント伸びたことにより、前年度に比べ税抜きで2.41パーセント（70,867,963円）の増となった。

また、給水申込納付金については、前年度に比べ18.54パーセント（136,040,000円）の減額となり、損益では397,245,030円の利益となった。

一方、水道事業を取り巻く環境として、給水人口の伸び率2.78パーセントに対し、年間有収水量の伸び率は2.05パーセントに留まっていることから、一人当たりの給水量は依然として減少傾向となっている。

運営面において、浄水場の運転管理業務及び維持管理等業務委託、給水装置関連及び漏水修理等業務委託並びに上下水道料金等徴収業務委託について継続して民間に委託し、水道利用者の利便性の向上と効率的な運営に努めた。

令和元年度は千葉県内の市町村で台風被害が続出したため、千葉県水道災害相互応援協定に基づき応援職員や給水車を派遣し、さらには、市内の小中学校に応急給水栓を設置するなど災害対策に注力した。

水道事業のPR活動のために、上下水道局単独で発行している広報誌についても継続して発行した。

イ 建設事業

基本計画及び第6次拡張変更認可に基づき、既設浄水場の自己水源の改修を実施したほか、配水管の改良、拡張工事を実施した。

既設浄水場の自己水源の改修については、東部浄水場3号井戸及び5号井戸の調査業務を実施した。また、既設浄水場の改修工事として、おたかの森浄水場に応急給水設備を設置した。

一方、配水施設整備事業は、給水区域の安定した給水と一定の水圧を確保するため、配水管の口径変更と塩化ビニル管等を地震に強いダグタイムル管や水道配水用ポリエチレン管に改良する配水管改良工事22件、延長6,412メートル、越谷流山線バイパス道路整備に伴う配水管移設工事1件、延長532メートル、舗装本復旧工事7件、面積11,510平方メートルを実施した。また、未給水区域の解消を図るため、配水管拡張工事4件、延長980メートルを実施した。

さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る配水管拡張工事として、木地区、運動公園周辺地区及び新市街地地区において、繰越5件を含む拡張工事8件、延長5,618メートルを実施し、安心安全な水の安定供給追求を図った。

ウ 業務の状況

令和元年度末の給水人口は195,230人で、前年度に比べ5,287人増加し、給水普及率は99.59パーセントとなった。

年間有収水量は17,625,268立方メートルとなり、前年度に比べ353,988立方メートルの増となった。

また、水道料金等の不納欠損金処理は293件、857,001円で、前年度に比べ件数では81件増、金額では3,055円の

増となった。

このほか、給水申込納付金の調定状況は、件数では449件減の2,388件、金額では117,238,000円減の総額で651,819,200円となった。

臨時給水については、件数では36件増の856件、金額では18,237,831円増の38,644,073円となった。

エ 経理の状況

収益的収入は4,326,975,643円（税込み）で前年度に比べ77,669,973円の減収となった。この主な要因は給水申込納付金の減少によるものである。

一方、収益的支出は3,860,390,482円（税込み）で、前年度と比べ555,283,740円の増加となった。この主な要因は、雑支出による一般会計への納付金や固定資産に係る減価償却費の増加等によるものである。

このような状況の中、令和元年度の損益は、税抜きによる収益的収入が4,004,667,224円、収益的支出が3,607,422,194円で、収入から支出を差し引くと、397,245,030円の純利益を計上することができた。

資本的収入は358,573,676円（税込み）で前年度に比べ104,725,039円の減収となった。その主な要因は、つくばエクスプレス沿線整備工事負担金の減少によるもので、資本的支出のつくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、沿線区画整理事業者との負担協定に基づき収入したものである。

一方、資本的支出は2,348,967,464円（税込み）で、前年度に比べ181,983,499円の増加となった。

その主な要因は、配水管改良工事の大幅な増加によるものである。なお、拡張事業費については、97,572,758円（税込み）で、前年度に比べ12,688,940円の増加、つくば

エクスプレス沿線整備事業費は293,063,130円（税込み）で、前年度に比べ139,801,585円の減少となっている。